九州大学
人社系協働研究・教育コモンズ

人文科学研究院／人間環境学研究院
法学研究院／経済学研究院

オムニバスセッション

知の形成史

ハイブリッド開催

第7回
2023 7/5［水］14:50～

会場 …E-C-203 / Zoom（ハイブリッド開催）

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれながらも、時代の移ろいや、それにともなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来（いでき）はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

夏目 宗幸

九州大学人文科学研究院 助教
人文情報学・地理学

将軍の狩猟場と江戸近郊の地域変化

現代の東京近郊に広がる住宅街の姿からは想像もつきませんが、江戸時代、江戸から約20kmの地域は、将軍の鷹狩りのための鷹場に指定され、多くの賦役と規制が掛けられる特別な領域となりました。当初、私の関心は行政区としての鷹場にあり、地理情報システムを用いて絵図に描かれた鷹場の領域を現代の地図に再現することに始まりました。そして、この地図の作製は、江戸時代前期における同じ領域が、鷹狩りと鹿狩りを行う地域に二分されていた可能性に気づくきっかけを与えてくれました。文字情報として、現代に残された法令や将軍の狩猟記録を地図上に落とし込むことによって、これまでに無い江戸近郊の地域像を描いていく、こうした研究の魅力についてお話したいと思います。

［聞き手］山口 道弘 九州大学法学研究院 准教授
［司　会］蛭沼 芽衣 九州大学人文科学研究院 助教

参加申込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。Zoomでご参加の方には折り返しアドレスとパスワードをご連絡いたします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_19.html▸

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

［主催／お問合わせ］九州大学人社系協働研究・教育コモンズ Email:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp
［共催］ウェル・ビーイングの実現に貢献する高度人文情報人材養成プログラム：人文学 × データサイエンスによる「人文情報学」大学院の設置
（文部科学省 国公私立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」）
［後援］九州大学法文学部創立100周年記念事業実施委員会